

# 熱処理による変形・焼割れの発生メカニズムと対策

日時  
2019年 2月1日 (金)  
10:30 ~ 16:30

## 受講料

1名 44,000円+税  
2名以上1名 40,000円+税

## 案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
JR中央線(緩行線)  
地下鉄東西線(A5出口)  
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)  
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

## <お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

## 講師のことは

はじめに熱処理中の組織変化や、熱処理状態の違いによる鋼材特性の差を理解します。変寸については、冷間ダイス鋼の実例とその防止策を紹介します。また、変形と焼割れに関しては、熱間ダイス鋼の金型を例に、原因と対策を紹介します。焼割れと過大変形を避けて金型を高靱化するには、焼入れの温度域によって急冷と緩冷を使い分ける必要があります。この困難な課題を解決する一手法として、実験と数値解析(DEFORM-HT)の組合せによる工程設計例を紹介します。

テキストは図・写真を多用したわかりやすいものです。

## 講師

大同特殊鋼株式会社 技術開発研究所 特殊鋼研究部  
金型材料技術研究室 副主席研究員 河野 正道氏

## プログラム(各項目とも質疑応答含む)

1. 特殊鋼とその熱処理
  - 1-a. 種類と目的
  - 1-b. 組織変化と材質
2. 熱処理歪
  - 2-a. 分類や組織変化との対応
  - 2-b. 冷間ダイス鋼の変寸
  - 2-c. 熱間ダイス鋼の変形
3. 熱間ダイス鋼金型の焼割れ
4. 熱間ダイス鋼金型の割れ回避と高靱性化
  - 4-a. 工程設計の指針
  - 4-b. 実験による検証
5. 総括~強度-靱性のバランス化と歪・変形・割れを防ぐための~

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ  
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675  
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 熱処理による変形・焼割れの発生メカニズムと対策

セミナーコード

1101-190201

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2019/2/1 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	( )
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト( ) その他				